

新議場が誕生しました

～ぜひ議会傍聴へお越しください～



おおの

議会だより

No.187 平成27年1月23日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会



最上階に配置された傍聴席

▼
主
な
内
容
▲
▲
▲
▲
▲
▲

議会基本条例を制定（定例会の概要）

2ページ

8議員が市政を問う（一般質問）

3～6ページ

各議員の表決結果

7・8ページ

請願・陳情、人事案件

8ページ

平成25年度歳入歳出決算を認定

9ページ

和泉地区の農地管理を（常任委員会Q & A）

10ページ

丁寧な除雪への指導を（常任委員会報告）

11ページ

特別委員会報告

12ページ

12月 定例会市議会 概要

第391回定例会市議会は、12月1日から17日までの17日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成26年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改廃、教育委員会委員の任命・公平委員会委員の選任などの全24議案のほか、請願1件、陳情2件、そして市会案5件について審議しました。審議結果は、7、8件のとおりです。

▼議会基本条例を制定

定例会初日に、大野市議会の基本規程となる議会基本条例案が議会等改革推進特別委員会から提出され、全会一致で可決しました。本基本条例は、前文及び8章24条で構成しており、「議会や議員の活動の原則」「市民、市長等との関係」等を明確にしています。

施行は、平成27年2月21日で、今後、本基本条例にのっとり、議会を活性化し、市民に開かれた、市民の視点に立った議会を実現していきます。

▼一般会計補正予算

平成26年度一般会計予算に大野市一般職及び特別職の期末・勤勉手当の改正などに伴い、1702万円が追加されました。また、その他の補正

民間観光バスのラッピング経費や 除雪経費などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 民間の観光バスに天空の城越前大野城の写真をラッピングする経費	220万円
★ 過年度分の国・県への返還金の増額	3850万円
★ 児童手当の支給対象児童の増加に伴う増額	532万円
★ 保育単価の引き上げや低年齢児入所者の増加に伴い民間保育所への委託費を増額	3560万円
★ 県営土地改良事業費の増額に伴い市の負担分を増額	720万円
★ 林業機械の導入や木質バイオマス供給施設の整備に対する補助	371万円
★ 除雪作業に係る委託費の増額	1億3720万円

として、2億4270万円が追加され、予算の累計額が197億89万円となり、平成25年度12月補正後と比較すると11・7%の減です。

なお、主な補正の内容は次のとおりです。

その他の議案

▼特別会計等補正予算

大野市一般職の勤勉手当の改正などに伴い、各特別会計と水道事業会計の職員給与費の調整が行われたほか、介護保険事業特別会計では、介護保険法改正に伴うシステム改修費や介護予防サービス給付費負担金などが追加されました。

▼結の故郷伝統文化伝承条例の制定

本市に伝わる固有の伝統文化を市民共有の文化遺産と捉え、保護し、また正しく伝承していくことを目的に制定されました。

伝統文化や文化財を結の故郷伝統文化として認証することや、市及び市民等の責務などが規定されています。

施行は、平成27年4月1日です。

▼国民健康保険条例の改正

国民健康保険加入者の出産育児一時金が、39万

円から40万4000円へ引き上げられました。施行は、平成27年1月1日です。

▼指定管理者の指定

道の駅九頭竜の指定管理者として、新たに福井和泉リゾート株式会社が指定されました。指定期間は、平成27年度1年間です。

▼公民館設置条例の一部改正

施設の効率的な管理運営を行うことを目的に、公民館に併設する施設をそれぞれの公民館に統合するため、条例が改正されました。

施行は、平成27年4月1日です。



小山公民館に併設する農婦人の家などが統合の対象

ブランド戦略や結の故郷創生会議に 新しい指標を

「ネットプロモータースコア」、今後検討を



新生おおの

かねい
兼井

まさる
大議員

問 市民が、市或いは製品、サービス、ブランド等を友人や同僚に薦める可能性(熱量)を数値化した「ネットプロモータースコア(正味推奨者指標)」を、ブランド戦略や株式会社電通との相互連携協定に基づき設置された「結の故郷創生会議」の目標数値とするべきではないか。

答 ブランド戦略として取り組む一つの手法として受け止めさせてもらう。なお「結の故郷創生会議」で取り組む人口減少対策は、福祉、教育、雇用、住環境など多分野にわたることから、目標数値にネットプロモータースコアの概念を取り入れることは難しいと考えている。

問 今、情報発信によって全国の注目を集めており、素晴らしい成果を挙げている。今後は、ブランド戦略と人口減少対策の相乗効果を図るため、市民の熱量を上げる取り組みが必要。そのためには、市民に本市の取り組みをしっかり理解してもらうことと、それを市民の熱量としてネットプロモータースコアで測る必要がある。毎年、その数値目標を定めて、専門的なノウハウを多数持つ電通の方々と仕事を進めるべきではないか。

答 実際にその数値を出そうとすると、なかなか難しい部分があるが、市民の思いは大切であり、また観光客に対しては、来訪後に大野を紹介してもらえるかどうかなど、何かの機会を捉えて把握していきたいと思っている。

また、人口減少対策については、固定的に数値化するのには難しい部分はあるが、そのような手法があることは十分認識したので、今後、取り入れることを検討していきたいと考えている。

越前大野城を含む亀山公園の 環境整備に対する市長の考えは

ブランドとしての情報発信と 環境整備に取り組みたい



新風おおの

ながた
永田

まさゆき
正幸議員

問 柳神社境内周辺、西登り口北側、北登り口付近、亀山公園周辺の環境整備に対する市長の考えは。

答 天空の城を生かして地域活性化につなげる施策を推進している。結果、越前大野城の入館者が昨年同期のほぼ2倍にあたる4万8000人余りとなっている。越前大野城は、市民のシンボルであり、憩いの場としてだけでなく、憩いの場としてなくブランドとしての情報発信とともに環境整備にも取り組んでいきたい。

現在、平成21年に策定した「亀山公園整備基本計画」において、天守閣の見通しの改善や眺望、散策空間の充実を整備方針に掲げ、改修を行っているが、今後、山麓遊歩道や北西側エントランスと駐車場の新設などについて事業化を検討したい。

問 県内の中学生が大麻取締法違反の疑いで書類送検されるという、大変ショッキングな出来事があった。危険ドラッグ等の犯罪防止策は。

答 市内の小中学校長、高等学校長、大野警察署等25の関係機関で構成する「大野市安全で安心なまちづくり推進会議」において情報を共有し課題解決にあたる。

また、中学校の学習指導において、薬物乱用や飲酒・喫煙防止の授業を行っている。さらに教育委員会では、昨年9月に「福井県学校警察連携制度に係る協定」を結び、学校、教育委員会、警察の三者が児童・生徒の非行防止等の情報を共有し、適切な指導や支援を行っている。

今後とも関係機関と連絡を密にしながら、地域全体で周知啓発や情報発信等の犯罪防止対策を講じたい。

一般質問

消費税8%増税が不況を招いたのでは

消費税率上昇だけの影響を捉えた統計がなく
試算は困難で答えられない



日本共産党・大野市議員
浦井 智治 議員

- 問** 消費税増税は、景気や家計に大きな影響を与え不況を招いたのではないかと。
- 答** 消費税率上昇だけの影響を捉えた統計がなく、市としての試算は困難であり答えられない。
- 問** 増税分は、全額社会保障に充てるのではないかと。
- 答** 消費税の増加分として4兆5000億円計上されており、社会保障の充実のために1兆4000億円歳出が増えている。
- 問** 消費税を増税し、法人税を減税するのは改める必要があるのではないかと。
- 答** 国が税体系全体の中で考える問題であり、市としては答える立場にない。
- 問** 子ども医療費の窓口無料を行っている県は。
- 答** 窓口無料を実施しているのは23の都県で、償還払いの10の道県、併用しているのは14の府県となっている。
- 問** 市として窓口無料を県に要望すべきでは。
- 答** 全国市長会で国に対して全国一律の実施を要望しているので市としては県に要望する考えはない。
- 問** 住宅リフォーム事業を行っている市はいくつか。
- 答** 2013年度の調査では、全国1741自治体のうち628自治体で実施している。県内では高浜町が実施している。
- 問** 市として、住宅リフォーム助成制度を実施しては。
- 答** 定住促進などの目的を持った事業に対してはリフォーム助成事業を行っているが、一般住宅については典型的な個人資産なので、目的を限定せず、あらゆる工事を対象にする単なる公金のばらまきという問題になる。

一般質問

人口を増やすという大きな柱のもと、全課がまい進すべき。市長の考えは。

住みたいまち、住んで良かったと
実感できるまちを目指し、施策を展開する



双葉会
高岡 和行 議員

- 問** 人口減少問題に対する市長の考えは。
- 答** 住みたいまち、住んで良かったと実感できるまちを目指し、今まで展開してきた子育て支援や教育の充実、豊かな自然環境の保全などの施策に今後も積極的に取り組む。
- 問** 働く世代に対する支援はどうか。
- 答** 安心して子育てができるように、子育て支援サービスの充実を図り、子育ての不安感、負担感の解消に努める。また、仕事と子育ての両立支援として、育児休業制度の啓発、男性の育児参加の促進、育児休業等取得促進事業補助金の交付等を実施している。
- 問** 医療体制の充実はどうか。
- 答** 「かかりつけ医」を身近な地域で持つことを啓発しており、「かかりつけ医」から総合病院に紹介するなど診療連携による
- 問** 人口減少問題に対する市長の考えは。
- 答** 住みたいまち、住んで良かったと実感できるまちを目指し、今まで展開してきた子育て支援や教育の充実、豊かな自然環境の保全などの施策に今後も積極的に取り組む。
- 問** 働く世代に対する支援はどうか。
- 答** 安心して子育てができるように、子育て支援サービスの充実を図り、子育ての不安感、負担感の解消に努める。また、仕事と子育ての両立支援として、育児休業制度の啓発、男性の育児参加の促進、育児休業等取得促進事業補助金の交付等を実施している。
- 問** 医療体制の充実はどうか。
- 答** 「かかりつけ医」を身近な地域で持つことを啓発しており、「かかりつけ医」から総合病院に紹介するなど診療連携による
- 問** 起業家に対する助成期間3年間で店舗を閉めているのはいかなるものか。
- 答** 問題視している。今後、制度の在り方を検討していく。

第五次大野市総合計画前期プラン終了後の 大野市の地方創生をどのように進めていくのか



平成27年度策定の 後期基本計画に基づき取り組む

問 第五次大野市総合計画前期プラン終了後の大野市の地方創生をどのように進めていくのか。

答 今後は、人口減少対策や地方創生の視点も含め、総合的な施策に取り組みが必要であり、平成27年度に策定する後期基本計画では、前期基本計画の成果指標の達成状況や後期基本計画に関する市民意識調査の分析結果・課題を踏まえるとともに、国の総合戦略との整合性を図り国の支援の活用を念頭に入れて取り組むこととする。

問 結の故郷創生会議の目的は。

答 この会議は、市と(株)電通及び(株)電通西日本で締結した協定に基づき設置したもので、人口減少対策に関わる調査研究及び事業の実施を目的にしている。このほかに、人口減少対策に特化した会議の設置を準備している。

問 (株)電通に丸投げせず、市民と共に知恵を結集して取り組むことが大事であると考えらるか。

答 電通の意見を聞きながら、われわれが主体的に取り組むよう職員に強く伝えている。市民と連携し、いろんな意見を加えていく場の設置を現在検討中である。

問 結の故郷越前おおのの環境王国を今後どのように推進していくのか。

答 導入した米品質評価システムを活用し、生産者の意識と栽培技術の向上を図り、消費者に信頼されるおいしい良質米を提供することで、環境王国としての越前おおの産米のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、農林業によるこだわり米の販売量拡大に努める。今後も環境調和型農業の一層の推進を図っていく。

新風おおの

まつた

もとえ
議員



自治体独自の 「米価激変緩和補助金」創設の考えは

2億円余りという予算でも必要なときは出す考えもあるが、それ以前に農家の米価格補償を国に行わせることが大切

問 自治体として米価暴落に対する農家のための対策は考えているか。山形県の農協や石川県の自治体等では、仮渡金に乗せる「米価激変緩和対策補助金」を創設して安倍農政に対し「地域農業を守れ」の声を上げているが。

答 市独自の米価下落対策については、秋田県東成瀬村の例を本市に置き換えてみると、対象となる農家数は1352件で、補助対象面積は2580畝、補助の総額は2億2700万円となる。市町村の厳しい財政状況では、このような価格補償は国が行うべきものだと考えている。

問 米価下落に対して国に何か要求しているのか。

答 全国市長会を通して「米の安定価格を望む」との要望をしている。
問 全国市長会を通して

答 出さなければならぬときがあれば、それは出さないといけないと思うが、やはり農業自体が成り立つように農業者の所得補償は国に行わせるべきである。

問 本市は、水力発電の経験はある地域だが、バイオマス火力発電の経験は初めてであり、冷却水の確保や環境等への影響に対する配慮はどうか。

答 6000キロワットの発電規模に要する燃料は、間伐材で4万5500ト、一般木材で1万2200ト、リサイクルチップで0.5ト、冷却水は、井戸を6本掘る計画で、周辺の家屋の浅井戸と地下水源が異なり、影響はないものと聞いている。

日本共産党・大野市議員団

さかえ

まさお
議員

電子入札制度への移行は

費用対効果と 各市町の運用状況を見極めて検討する



新風おおの
石塚 淳子 議員

問 電子入札制度への移行の見通しは。

答 福井県が平成19年に導入。平成26年度では、14市町が電子システムを利用している。市としては、初期導入費用が約1000万円、年間のシステム保守料等に約250万円の負担が見込まれること、また現在の郵便入札が円滑に行われ定着もしていることから、費用対効果や各市町での運用状況を見極めながら検討していく。

問 郵便入札方式のメリット・デメリットは。

答 メリットとして、受注者は受注機会が拡大するとともに、物理的な移動や時間的な制約にとらわれずに入札に参加できるなど事務処理が軽減される。発注者は、競争性の向上とともに、入札関係書類の作成、送付などが省略されるなど事務の効率化が図られる。デメリットとして、開札から落札候補者の選定まで、入札書の記載内容及び内訳書の確認に若干の時間を要する。

問 平成27年4月からの生活困窮者自立支援法の施行に向けて、生活困窮者の自立相談にどのような体制で臨むのか。

答 事業を社会福祉士などの専門職員がいる事業所へ委託する方向で検討している。

問 子どもの貧困対策に関しての施策は。

答 就学援助制度を設けて、学用品費等を補助し、学校生活を支援している。大学等進学への教育機会の提供として、結の故郷奨学金貸与条例を定め、募集要項を高校等に配布した。

問 災害弱者支援のための防災行動計画は。

答 避難支援プランの作成を進め、自主防災組織等と共に、自助、共助の取り組みを進める。

一般質問

平成28年3月の真名川の水利権更新に向けて どのように取り組んでいくのか

真名川河川維持流量を増やせるような方法を 検討している



新風おおの
梅林 厚子 議員

問 湧水文化再生計画等の目標の達成や本市の地下水保全には、真名川における河川維持流量の増加が重要なことだが、平成28年3月31日の水利権更新時にどれくらいの増量を見込んでいるのか。

答 平成28年3月の水利権更新は、電力事業者が発電ガイドラインに沿って行うもので、更新許可権者は国土交通大臣であり、本市が意見を述べることはできないが、維持流量への配慮を求めている。

問 地下水総合調査業務報告書では、真名川の流量を0.8トン増やすことにより御清水の地下水水位が50センチ回復することだが、この数値をどうみるか。

答 平成26年、国総研が地下水の流れ等を調査している。そこで真名川の維持流量がどれくらい必要であるのかが分かっている。

問 本市では水に対する住民意識も高まり、全国からも注目されている。「結の故郷地下水保全宣言都市」の名乗りを挙げたいかがが。

答 本市では水に対する更新のときなどに考えてもらう動きが必要だと思われる。現時点では今までもおりお互いの信頼関係で、維持流量の確保に努めていく。

問 本市では水に対する住民意識も高まり、全国からも注目されている。「結の故郷地下水保全宣言都市」の名乗りを挙げたいかがが。

答 本市は国土交通省の地下水のモデルに選ばれ、調査後作成される冊子には、熊本市と大野市の2カ所しか掲載されない。よって、宣言都市としても、全国自治体全てにPRできると思う。



水のない真名川

平成26年12月第391回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	山	梅	永	松	前	石	宮	川	松	藤	高	兼	島	浦	本	畑	砂	榮
				崎	林	田	田	田	塚	澤	端	原	堂	岡	井	口	井	田	中	子	正
			利	厚	正	元	政	淳	秀	啓	勝	和	大	敏	智	章	男	三	正		
			昭	子	幸	榮	美	子	樹	治	義	行	大	榮	治	章	男	郎	正		
市 長 提 出 議 案	69	平成25年度大野市歳入歳出決算認定について〔継続審査分〕	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
	70	平成25年度大野市水道事業会計の決算認定について〔継続審査分〕	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	平成26年度大野市一般会計補正予算（第5号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73	平成26年度大野市一般会計補正予算（第6号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74	平成26年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75	平成26年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76	平成26年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	平成26年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	平成26年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	79	平成26年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	80	平成26年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	81	平成26年度大野市水道事業会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	82	大野市結の故郷伝統文化伝承条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	83	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	85	大野市公民館設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86	大野市営住宅条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	87	野市農林業者トレーニングセンター設置条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	88	指定管理者の指定について（大野市道の駅九頭竜）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	89	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度大野市一般会計補正予算（第4号））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
91	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
92	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
93	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市 会 案	8	大野市議会基本条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	市長の専決処分事項の指定についての廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	大野市議会会議規則の一部を改正する規則案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	農業改革に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	今後の水田農業政策に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成26年12月第391回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	山崎利昭	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	前田政美	石塚淳子	宮澤秀樹	川端義秀	松原啓治	藤堂勝義	高岡和行	兼井大	島口敏榮	浦井智治	本田章	畑中章男	砂子三郎	榮正夫
請願	3	子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	/	賛	否	否	否	賛
陳情	8	農業改革に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛
	9	今後の水田農業政策に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛

（議長（島口敏榮氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」、除斥は「除」と表示。）
 議案に賛成○、反対×。
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

請願・陳情

▼子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願

○請願者 福井県社会保障推進協議会 代表委員 平野治和 ほか2名
 ○紹介議員 榮 正夫議員

▼農業改革に関する陳情書
 ○陳情者 テラル越前農業協同組合 代表理事組合長 松田義一 ほか1名

▼今後の水田農業政策に関する陳情書

○陳情者 テラル越前農業協同組合 代表理事組合長 松田義一 ほか1名

人事案件

▼教育委員会委員の任命
 引き続き、松田公二氏（中挟三丁目）を任命することに同意しました。

▼公平委員会委員の選任
 早川きよみ氏（右近次郎）

と村西勝雄氏（中据）を選任することに同意しました。いずれも再任です。

意見書

▼農業改革に関する意見書
 政府の規制改革会議が提案した「農協改革」に対して、JAGグループがまとめた自己改革の方針を尊重することや、この方針に掲げた新たな中央会制度の機能・役割が発揮できるように法的措置を講じることを政府関係機関へ要請するものです。

▼今後の水田農業政策に関する意見書

担い手の経営安定を図るための収入減少影響緩和対策、いわゆるナラシ対策の充実を図ることや、土地利用型農業への支援を拡大すること、また30年産をめどにした生産調整の見直しに向けて新たな米政策の十分な検証を行うことを政府関係機関へ要請するものです。

請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時まで提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
 (0779-64-4830)

市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（4階）にお入りください。また、市民ホールのモニターでも放映します。

○委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、先着順で定員になり次第、受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

歳入歳出決算を認定

○歳入の確保を

日本全体が人口減少局面に入っている中であって、地方財政は今後ますます厳しくなってくるものと考えられる。このような状況の中、歳入の確保は最重要課題であり、市税、国民健康保険税をはじめとする医療保険、介護保険等に係る歳入の徴収には、負担者の公平性の観点に立って、徴収率を少しでも上げられるよう、滞納者と連絡を取り、きめ細やかで確実な徴収に努められたい。

また、町家住宅の入居要件の緩和措置等を検討し、空き室の解消に努め、住宅使用料の確保に努められたい。

○城下町大野の景観保全を

全庁で展開すべき

現在、復元工事を行っている市指定史跡「田村又左衛門家屋敷」近くで



復元工事が進む「田村又左衛門家屋敷」

○地域おこし応援事業を

定住に結び付けて

地域おこし応援事業は、

平成25年度の市の歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会が開催されました。委員会では出された主な意見は次のとおりです。

市外から緑のふるさと協力隊を誘致し、地域の活性化を図ることが目的で、定住を目的としていない。しかし、5年間で1名の隊員が定住した実績もあり、本市にとって人口減少対策は喫緊の課題であるため、本事業において定住に結び付くようなメニューを検討されたい。

○観光リピーターの目標設定を
第五次大野市総合計画における目標年間観光入り込み客数200万人を達成するには、リピーターを増やすことが必要不可欠。そのためにもリピーターの目標人数を新たに設定し、その目標達成の

ための仕組みづくりについて検討されたい。

○適正な予算執行を

多額の不用額が生じた事業が多く見受けられた。これは予算執行段階における各課での自助努力として評価する一方、平成27年度予算編成にあたっては事前に十分調査・研究を行うよう望む。

平成25年度 大野市各会計決算総括表

●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	194億2896万円	183億3485万円	10億9411万円

●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
国民健康保険事業	41億5375万円	38億9193万円	2億6182万円
和泉診療所事業	9313万円	9313万円	0円
後期高齢者医療	3億7524万円	3億7480万円	44万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	36億7260万円	36億1955万円	5305万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1635万円	1635万円	0万円
簡易水道事業	1億5788万円	1億3564万円	2224万円
農業集落排水事業	3億5502万円	3億3931万円	1571万円
下水道事業	9億134万円	8億9544万円	590万円

●企業会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
水道事業	1億5851万円	2億1124万円	▲5273万円

会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

常任委員会審査



市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

▼産経建設

和泉地区の農地管理を

問 農産物特産振興には農地管理が重要。和泉地区の耕作放棄地の状況を把握しているのか。

答 現在、耕作放棄地防止を和泉営農生産組合が担っており、支所が希望田を調査している。今後、高齢化の進行によりオペレーター不足も予想されるため、特産生産にかかると組織化などを地区民と協議していきたい。

堆雪場所の在り方を考えて
問 市立保育所や児童館の駐車場に堆雪している光景を見る。道への見通しが悪くなり、保育士や児童館職員からの死角も生まれやすいため、幼児・児童にとつて危険である。そもそも堆積場所にならないか、雪を積んだときに



道の駅九頭竜

は、速やかに排雪すべきと考えるが考え方は。
答 パトロールを実施し、道路拡幅のための排雪と同じように対応したい。

問 道の駅九頭竜の指定管理期間が1年間と短い理由は。

答 この指定管理施設には和泉ふれあい会館が含まれており、この運営の方法を検討中であるため、決定するまでは1年更新としたい。

▼民生環境

他市町の保育所に通う

子どもの費用は
問 保育料は市町村によって違うが、他市町に通う広域入所児童にかかる市の負担、国・県の補助金、親の負担も変わってくるのか。

答 大野市民で他市町の保育所に通う場合、本市の基準で本市が保護者から保育料を徴収し、国・県補助金を含めて当該保育所に運営費を支払っている。よって、市内外の保育所を問わず市、国・県、保護者の負担は同じである。

ふくいマイカルネットの普及に支援を

問 全国に先駆けて始まった県内の医療機関で患者の医療情報を共有するふくいメディカルネットがもっと普及するためには、医療機関に対する支援が必要ではないか。

答 確かに個人病院では、莫大な経費が掛かるといふところがネックとなつ

ている。このため国がバックアップする制度を求めていきたい。

下水道普及啓発イベントの参加者の反応は

問 10月17日から19日に実施したイベントの参加者の反応は。また、平成27年度以降の在り方は。

答 3日間で446人の参加を得た。アンケートでは汚水の浄化の仕組みを理解できたとか、排水処理の必要性について感じているとの回答が多かった。

平成27年度以降もさらに理解を深めるような企画を考えたい。



下水道普及啓発イベントでの汚水浄化の仕組み体験

▼総務文教

大野市結の故郷伝統文化伝承条例の制定について

問 昔から地区に伝わる風習等には、結婚式の餅まき等、さまざまなものがあるが、風習ではどのようなものが対象になると考えているのか。

答 一般的な風習ではなく、例えば初午だんごまきや成木責め等、集落や地区に伝わる大野固有のもので、後世に伝承していくことが必要と認められるものと考えている。

問 多くの中からのようにして認証するのか。

答 関係団体の了承を得て、結の故郷伝統文化認証審査会に諮り決定する。

問 財政上の措置を講じるとあるが、練習等で使用する公共施設の使用料は免除されるのか。

答 財政上の措置としては、保存団体の運営に関するものや発表の場の提供等を考えている。会場の使用料の減免については今後検討したい。

一部事務組合からの返納金の時期について

問 大野・勝山地区広域行政事務組合からの返納時期が遅いのではないかと。今後、改良していく必要があるのではないかと。

答 決算認定等の手続きの関係もある。今後、同組合と相談したい。

自治体の源泉徴収について

問 全国の自治体で業務委託料等に係る源泉所得税の徴収漏れがあったと報道されているが、本市はどうか。

答 平成25年に税務署からの調査があったが、本市は全て徴収してある。



木本地区での初午だんごまき

常任委員会 報告

▼産経建設

丁寧な除雪への指導を

業者によって除雪の時間帯が遅かったり、丁寧さを欠く除雪であったりという苦情を聞く。1社が多額の路線を担当しなければならぬ現状があるものと思うが、今一度、委託業者に対して、市民に気を配った、丁寧な除雪に努められるよう、指導してほしい。

が低下しないよう注視されたい。

国道158号と476号 交差点の安全対策を

国道158号と476号との交差点は非常に見通しが悪く、特に476号から福井方面へ右折しにくい状況がある。この状況を放置すると、いずれ大きな事故につながる。懸念されるので、交差点での安全対策について関係機関と協議されたい。

道の駅九頭竜の

サービス水準を注視

道の駅九頭竜の指定管理料が平成26年度と比較すると3割以上低減している。これは新たな客層をターゲットにすることで収入の向上を図る計画が指定管理者から提示されているとのことだが、現在まで観光客等に提供されてきたサービス水準



国道476号からの見通し(砂山トンネル方向)

▼民生環境

福祉計画策定にあたっては 読む側の興味を引く工夫を

大野市子ども・子育て

支援事業計画をはじめ、現在三つの計画を策定中である。

子ども・子育て支援事業計画には適齢期の世代のみならず、もっと若い世代に向けて「結婚」を自分たちの将来のこととして伝えるべきであり、計画の中に盛り込んでほしい。

また、子どもたち自身に、「地域の一員として育ててもらった」という意識が根付き、将来、今度は支える側として地域に戻ってくれるような、子育て施策、事業計画を期待する。さらに今後、こういった市の計画の概要書を作成する場合には、市のキャラクターを利用したり、ストーリー性を持たせたり、読む側の興味を引くような工夫が必要であるとの意見もあった。

子どもの医療費助成制度の 窓口無料化についての請願

本請願は、子ども医療費助成制度の支給方法について、現在の償還払い制度から窓口無料化に変

更を求めるとともに、県に対して窓口無料化への変更を要請するよう求めるもの。

審査の中では、全国的に遅れている福井県に対し、改善を要請すべきとの意見がある一方で、既に県、市はそれぞれ知事会、市長会を通じて国に要請しており、事務レベルでも県内一円で協議を続けていることから、引き続きこれを見守るべきとの意見や、医療機関側との判断できないなどの意見が述べられ、採決の結果、不採択となった。

▼総務文教

大野市公民館設置条例の 一部改正

大野市農村婦人の家等の機能をそれぞれ併設する公民館に統合して効率的管理運営を行うことを目的とし、施設使用料は全て以前からの料金設定を継承している。

味噌作りは、行程に同じ使用する設備ごとに三区分して料金を徴してい

るが、全体で一つの料金設定にする等、時代の流れも考慮し、利用者にとって分かりやすい料金設定を検討願いたい。

市民所有の絵画展

「越前おおの 現代アートの礎」

結の故郷発祥祭事業として、市民が所有する著名な作家の絵画を展示し、市内外から多くの鑑賞者が来訪した。

市内には素晴らしい作品がまだ多くある。次につなげることや、管理方法について所有者と連絡を取り合う等、作品が市外に流出しないよう保存に努められたい。



市民所有の絵画展「越前おおの現代アートの礎」

子どもたちが本格的な舞台芸術に親しむ機会

「一休さん」の公演は鑑賞者が少なかった。多くの子どもたちに本物の芸術に触れる機会を持たせるためにも、集客方法について検討願いたい。

文化会館在り方

検討委員会の状況

耐震構造上の問題が指摘されているため、文化会館をどうするのかという根本的な方向性について多方面から議論を行っている。平成27年3月末までには検討結果がまとめられ、報告がある。

人口減少対策

定住人口を増やす取り組みを進める観点からも、県外に住む学生がホームページから閲覧できるように、市内のインターシップの受け入れ事業所をインターネットに掲載することを検討願いたい。

特別委員会 報告

○中部縦貫自動車道・ 国道158号整備 促進

▼中部縦貫自動車道
大野油坂道路大野東・
和泉間では、蕨生、下唯
野地区において農道のポ
ツクス工事や水路工事な

どが順調に進捗し、下山
地区においては、九頭竜
川橋の仮設工事の発注に
向け、準備が進められて
いる。また、貝皿地区で
は、埋蔵文化財の試掘が
行われ、特に遺構、遺物
が確認されなかったため、
着々と和泉トンネルの工
事着手に向け準備が進め
られている。

▼国道158号

国道158号砂山トン
ネルの拡幅工事が完成し、
今後、市内外の方に安心、
安全な道路とし

て活用されるこ
とを期待する。

○議会等改革推進

現在、街路樹の樹種の
選定などが進められてお
り、また菖蒲池踏切にお
いては、今後、工事協議
書を取り交わし、平成27
年の夏以降、順次、工事
に取り掛かる予定である
ことなど、平成28年度の
全線供用開始に向け順調
に進捗している。

最後の懸案事
項であった政務
活動費の不適切
な支出に対する
対応については
「政務活動費運
用マニュアル」の改正に
より対応することとし、
同マニュアルにおいて、
「不適切な支出に対する
返還手続き」を、過年度
分、現年度分のそれぞれ
の支出について規定を設
けたのははじめ、受給に
ついて不適切ではないか
と疑義が生じた場合には、
議会運営委員会において
協議することとした。



国道158号砂山トンネル開通式（平成26年12月18日）

他方、四車線に
なったことで、
新たに供用開始
した区間に接続
する市道等から
は、国道へ侵入
する際、左折し
かできなくなる
など、当面の間、
利用者の戸惑い
も考えられるの
で、供用開始後
の状況について
注視されたい。

▼国道157号
大野バイパス
また、議会運営の手引
きの改正については新し
い議場への対応や一般質
問の順序、一般質問にお
ける一問一答制の導入、
議会モニター制度の導入
等を改正・追加し、これ
までとは異なる議会運営

の部分が出てく
ることとなるが、
市民に分かりや
すい議会、市民
に開かれた議会
を目指すための
改正であり、ご
理解いただいた
議員各位に感謝
申し上げます。



議会等改革推進特別委員長から最終報告書を議長へ提出
（平成26年12月15日）

編集後記

「夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に、
夢なき者に成功なし」

議会一般質問では、次
代を担う子どもたち・大
野っ子へ希望ある将来を
準備するため、市民の負
託を受けた議員が、それ
ぞれの「夢」＝「20年、
30年後の（豊かな）大野
市」の実現に向け議論を
戦わせています。

ぜひ傍聴に来てくださ
い。
今後とも、一人でも多
くの方に足を運んでいた
だけのように、市民の皆
さまが市議会に興味を持
つことができる議会だよ
りの編集に取り組んでい
きます。

（座長 兼井 大）

議会だより編集委員会

委員 兼井 大

梅林 厚子

高岡 和行

浦井 智治

※ 次回は、4月24日の
発行を予定しています。